

① スイスフラン & 人民元 & 豪ドル

8日の外国為替市場で人民元が対ドルで上昇し、一時1ドル=6.34元台と2018年5月以来3年7カ月ぶりの**人民元高・ドル安**水準を付けた。

米モルガン・スタンレーは

「**貿易収支の黒字**や証券投資に伴う力強い資本流入を背景に、向こう数カ月間は人民元の堅調な推移が続く」と見込む。

第一生命経済研究所の西浜徹主席エコノミストは

「物価が高止まりするなか、**当局がインフレを抑えるために通貨高を容認している**」

ことも人民元高につながっていると指摘している。

この3つの通貨の安い局面は買い！





② 恒大集団

まさに「灰色のサイ」ですね。

灰色のサイ(Gray Rhino)とは、マーケットにおいて高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されてしまいがちな材料を指します。草原に生息するサイは体が大きくて反応も遅く、普段はおとなしいのですが、一旦暴走し始めると誰も手を付けられなくなり、爆発的な破壊力を持つことから、比喩として用いられています。たとえば、不良債権や少子高齢化などは、直近ではそれほど問題視されていなくても、いずれ拡大して表面化すれば株価暴落を引き起こしかねない潜在的リスクです。2013年のダボス会議(世界経済フォーラム)で米国の政策アナリストのミシェル・ウッカー氏が提起し、注目されるようになりました。



③ 「大離職(グレート・レジグネーション)」

米政府が講じた失業給付の増額措置は9月に終わり、子供の学校も再開された。

「ある程度の労働力が市場に戻ると考えたが、そうはならなかった」

(米連邦準備理事会=FRB=のパウエル議長)

米国で離職者が増えている。

8日発表の10月の雇用動態調査(JOLTS)によると、就業者に占める離職者の割合は2.8%と遡れる2000年以来で過去最高水準が続く。

新型コロナウイルス禍を機に働き手がより好待遇を求め、低賃金の飲食やサービス業から離れている。

労働集約型の業種では慢性的な人手不足に悩まされる可能性がある。

④ コロナ感染者数&死者数

米国・ロシア・ドイツの死者数はびっくりするほど多いですね。

フランスやドイツの感染者数にも驚くばかりです。

1月のNY行きは残念ながら断念いたしました。

世界各国・地域の新型コロナ感染者・死者数

	感染者数	前日比	死者数	前日比
世界	267,183,734	707,843	5,271,698	8,811
米国	49,387,208	108,484	791,514	1,769
インド	34,656,822	8,439	473,952	195
ブラジル	22,157,726	10,250	616,018	274
英国	10,620,535	45,473	146,281	180
ロシア	9,692,411	30,546	278,131	1,152
トルコ	8,945,807	22,687	78,215	198
フランス	8,091,667	70,073	120,883	361
ドイツ	6,312,346	93,087	104,051	811
イラン	6,141,335	3,514	130,356	79
アルゼンチン	5,346,242	3,089	116,703	23
スペイン	5,246,766	43,808	88,237	78
イタリア	5,134,318	15,742	134,386	99